

4月1日：VN指数は軟調に推移 (VN-Index -0.20%)

- VN指数はベトナムの景況観を示す PMI が悪化したことも影響し、本日は軟調な推移となった。
- 本日の取引は下落して開始。前場では一時的に前日比プラスの推移が見られたものの、大きな取引を伴った売りが発生し、その後は下落の流れとなった。
- 後場にかけては流動性が増し、下げ幅は縮小していった。ただし、最終的には前日比で下落となった。
- セクター別では、旅行・レジャーセクターの買いが目立った。一方で、化学、保険セクターの下落が目立った。
- 144 銘柄が上昇、327 銘柄が下落、77 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性はほぼ変わらず、0.3%増の 23.2 兆ドンとなった。

VN30 指数は下げを主導 (VN-30 -0.33%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、10 銘柄が上昇し、18 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずとなった。
- MBB (-1.97%)、TPB (-1.83%)、CTG (-1.55%)、VIB (-1.22%)、MSN (-1.08%) は 1%超下落した。
- 一方、1%超の上昇銘柄はなかった。

セクター・個別株の動き

- DIG (+4.04%) は 2024 年の年次株主総会資料を発表。同社は今年の計画として、連結売上高を 2 兆 3000 億ドン（前年比+72%）、税引前利益を 1 兆 100 億ドン（同+509%）と設定し、投資家からの期待を集めた。
- MSN (-1.08%) は、米系大手ファンド運用会社のベインキャピタルより、約 2 億 5000 万ドルの出資を受けることを発表した。

- 外国人投資家は 7230 億ドルの売り越しとなった。DIG (+4.04%)、MWG (+0.59%) などが買い越された一方、MSN (-1.08%) や SSI (+0.78%)、VNM (-0.89%) などが売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。